

令和7年度

事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

学校法人 聖心学園

令和 7 年度

【法人の概要】

(1) 設置する学校

①奈良芸術短期大学	美術科	専攻科	
②檀原学院高等学校	全日制課程	普通科	美術科
③聖心学園中等教育学校	前期課程	後期課程	
	全日制課程	普通科	
④聖心幼稚園			

(2) 学校の入学定員

入学定員(名) 定員(名)

①奈良芸術短期大学	美術科		130	260
	専攻科		20	40
②檀原学院高等学校	普通科	美術科	150	450
③聖心学園中等教育学校	普通科		80	480
④聖心幼稚園				160

(3) 学生生徒数の状況(令和7年5月1日現在)

奈良芸術短期大学	美術科	専攻科	計(名)	定員充足率
1回生	136	24	160	106.7%
2回生	122	29	151	100.7%
計	258	53	311	103.7%

檀原学院高等学校	普通科	美術科	計(名)	定員充足率
1年生	103	34	137	91.3%
2年生	78	19	97	64.7%
3年生	79	20	99	66.0%
計	260	73	333	74.0%

聖心学園中等教育学校	普通科	計(名)	定員充足率
1年生	42	42	52.5%
2年生	35	35	43.8%
3年生	37	37	46.3%
4年生	44	44	55.0%
5年生	34	34	42.5%
6年生	47	47	58.8%
計	239	239	49.8%

聖心幼稚園	計(名)	定員充足率
3歳児	12	30.0%
4歳児	9	36.0%
5歳児	17	33.3%
計	38	33.1%

(4) 役員・教職員の概要

役員の数

	人数(名)	任期
理事	5	4年
監事	2	3年
評議員	6	6年

役員

(令和7年7月1日現在)

	氏名	常勤・非常勤	兼職名
理事	平田 博也	常勤	短大 学長
	平田 静太郎	常勤	
	松本 邦夫	常勤	高校 顧問
	喜多 一嘉	非常勤	会社 役員
	澤井 泰裕	非常勤	税理士
監事	松谷 富史	非常勤	
	山田 善紀	非常勤	

評議員

評議員	氏名
	久野 喜美代
	西山 晴夫
	平田 寛二
	山田 幸男
	萬谷 嘉男
	小川 富夫

教職員

(令和7年5月1日現在)

	本務教員	本務職員	兼務教員	兼務職員	計
奈良芸術短期大学	26	26	80	3	135
檀原学院高等学校	35	7	7	2	51
聖心学園中等教育学校	34	2	20	0	56
聖心幼稚園	8	0	7	0	15
計	103	35	114	5	257

【事業の概要】

【学校法人】

1 令和7年度の主な事業の概要

【教育の質の向上】

- ①教育研究機器の積極的な導入

【施設設備の整備充実】

- ①教職員の福利厚生の実施を図るため、リゾートトラスト会員権を購入
- ②聖心学園中等教育学校 LL教室のPC更新
- ③聖心学園中等教育学校校舎のGHP更新

【組織力の強化】

- ①各校種間での授業連携成果が見られ、今後も強化の方針

【財務内容の改善】

- ①令和6年度に作成した中期財政計画に基づき活動を実施。

【地域・産業界との連携推進】

- ①連携プロジェクトの増加や地元自治体首長の講演など学生生徒の地域への関心を高める活動を実施。
- ②奈良芸術短期大学への企業・自治体・各種団体より作品制作依頼が増加。学生の創作意欲の向上と地元産業界への貢献で好循環が実現している。

【奈良芸術短期大学】

1 <令和7年度の主な事業の概要>

建学の精神のさらなる周知を徹底し、教育活動、研究活動、社会貢献、大学運営にあたって、対象母体である学生数の確保を第一とし、本年度もほぼ定員までとなった。

取り組みまたは改善事項は下記のとおり実施

【運営全般】

- ・継続事項の学生授業評価アンケートとPDCAによる教員の授業評価を中心とした自己点検評価の実施
- ・「セクシャル・ハラスメントの防止等に関する行動指針」から「ハラスメント防止に関するガイドライン」に変更改編しホームページに掲載
- ・外部評価懇談会を引き続き実施

【教員研修】

- ・SD研修として著作権に関する研修実施

【教育内容】

- ・これまで以上に基礎・基本を意識した指導を徹底
- ・10件程度の産学官連携の取り組みを実施
- ・希望により他コース授業体験できる期間の実施
- ・CAP制の実施
- ・履修登録のデジタル受付実施

【その他】

- ・Web出願受付実施
- ・施設設備の危険箇所の点検整備
- ・1号館講義室に電子掲示板設置(1台)
- ・継続して社会人講座の実現
- ・高等学校への出張授業実施および美術科設置高等学校からの生徒・保護者の団体見学会実施
- ・学生募集行事の実技体験と授業公開の実施

活動内容	実施日	参加者(名)	備考
ミニ体験&トークライブ	4月27日	80	
実技体験とデッサン指導	5月25日	59	
	7月26日	86	
	7月27日	72	
	8月24日	63	
	3月8日	54	
	授業公開&入試対策ゼミナール	9月27日	20
12月14日		21	
キャンパス見学・相談会	5月11日	17	午前のみ
	1月24日	22	午前のみ
	1月29日	1	午前のみ
大学祭	10月18日	300	
	10月19日	300	
卒業・修了制作展	2月21日	200	
	2月22日	300	
	2月23日	300	
合 計	16回	1,895	

2 奈良芸術短期大学 教育マップ

『建学の精神』

美は人をつくり、人は美を創る

日本人の心のふるさと飛鳥で、「教育は環境なり」の信念のもと、芸術性豊かな人材を培い、造形的精神や技術を修得することによって品位ある社会人、専門家としての人材を育成する。

『教育理念』

基本理念 … 人間性回復と創造性開発の扉を開く
行動理念 … ヤル気・ホン気・コン気を有する人材の育成

『教育目的』

清浄な環境において、人間性の錬磨と知性の涵養に努め、一般教養及び美術に関する専門教育を施し、学生自らの人間形成を支援して、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする

『教育目標』

目的達成のため重点目標をおく。

- ① 正しくものを見る眼を養い、創造性開発のための基礎基本の徹底
- ② 飛鳥(古代)文化に根づく感性の育成
- ③ 技法・技術のみならず人権文化に徹した人づくり
- ④ 『もの』に働きかけ『もの』と取り組む造形活動の育成

『3つの方針』

『入学者受け入れの方針』

- ① 基礎・基本を研ぎ、創造性開発に努める人
- ② 「美術」に取り組む、自己形成に努める人
- ③ 「ヤル気・ホン気・コン気」の3つの「キ」を実践する人
- ④ 人とのつながり、地域社会を大切にすることを実践する人

『教育課程編成・実施の方針』

- ① 教養科目、専門科目ともに科目や教材に「飛鳥(明日香)」を組み込み、当地に眠る古代美術のエネルギーを理解させる
- ② 社会人としての視野を広げ、コミュニケーション能力を有する人物を育てる
- ③ 専門科目をとおして専門知識・技能を身につけ、ヤル気・ホン気・コン気の態度と実践力を育成する
- ④ 地域社会に貢献する人材を育てる

『学位授与の方針』

- ① 実際生活に美術の専門的・実践的能力を生かす素養を有している
- ② 幅広い分野で活躍できる個性と創造的能力を備えている

【榎原学院高等学校】

令和7年度の主な事業の概要

1 【教育活動】

本年度は、様々な教育活動の中において、生徒に理解させる指導を継続させ、やる気を引き出す指導に行った。教師が当つなげる指導をたり前のことと認識していることでも、生徒は違う捉え方をしていることもあるので、より丁寧で正確な生徒理解と対応が求められる。そしてその姿勢が保護者からの信頼を得ることにつながっていると考えている。最近の傾向としても、心身の健康面から特別な教育的配慮を要する生徒が増加してきており、身近な指導の際にも保護者への連絡を確実に行うことを大切にしている。また、昨年度と比較して、退学者の人数は増減なしであったが、転学者の人数は少しの増加となってしまった。中学校の時から不登校であった生徒は毎年入学してきており、環境が変わり欠席が少なくなっていく生徒もいるがそうでない生徒は長期間の欠席が続き、毎年その対応を検討している状況である。スクールカウンセラーへの相談と不登校生徒への対応として職員研修も実施した。普段から小さな成功体験を積み重ねることで、自己肯定感を高められるようなサポートをしていきたい。

①全学年がクロームブックを購入し、各教科において授業での活用が盛んになってきており、学習意欲を高めることや生徒同士の協働的な学びにもつながっている。また、一部教室には移動式電子黒板を導入しており、スムーズに授業を進めることができた。今後においても効果的に活用していきたい。

②基本的な生活習慣の定着を目標としているが、身近にある指導に対して教員が適切な指導を行えているかが課題となる。目の前で何が起きているのかが「分からない」「分かってほしい」といったことにならないよう、普段から毅然とした態度で生徒と向き合い、指導を行うことが大切である。

③本年度も奈良県の私立学校への授業料の支援制度により、県内在住生徒に対しては、国の就学支援と合わせて910万円までの世帯収入であれば63万円が支給され、910万円以上の世帯収入のある場合においても、臨時支援金が支給されることとなった。これによって、これまで私学への進学をためらっていた保護者からの関心も高まり、私学への需要増加が期待される。これらの制度拡充により、これまで私学への進学をためらっていた保護者からの関心も高まり、私学への需要増加が期待される。今回の入学試験においては、全体の受験生はやや減少したが、専願受験者が普通科標準コースで大幅に増加した。美術科はほぼ昨年と同程度の生徒数を確保できたが、普通科特進コースについては、志願者が減少してきているので、次年度の課題として検討していかなければならない。少子化が急速に進む状況の中で、今後人気校となっていくための施設・設備といった環境を整備していくと同時に充実した教育内容が提供できるよう、具体的な取組を実施していきたい。

【施設設備整備】

- ①コンピューター教室機材一部増設
- ②グラウンド一部不陸工事実施
- ③各教室の什器の更新
- ④AEDの増設および落雷予防ストライクアラート導入

2 令和7年度 生徒募集の広報活動状況

活動内容	場所	実施日	対象者	参加者(名)
美術とのふれあい	本校	7月19日	中学生	24
オープンスクール	本校	8月3日	中学生・保護者	275
		8月17日	〃	227
美術科体験入学	本校	8月3日	〃	42
		8月17日	〃	45
第1回美術科実技講習会	本校	9月6日	中学生	52
第2回美術科実技講習会	本校	10月4日	〃	52
第1回入試説明会	本校	10月26日	中学生・保護者	152
第3回美術科実技講習会	本校	11月16日	中学生	64
第2回入試説明会	本校	11月16日	中学生・保護者	360
第4回美術科実技講習会	本校	12月6日	中学生	53
美術科受験相談会	本校	12月20日	中学生	15
参加者合計				1,361

3	令和7年度卒業生の進学状況	(名)		(名)
	【特進コース】			
	私立大学			
	関西大学	2	近畿大学	17
	同志社大学	1	龍谷大学	19
	立命館大学	2	京都女子大学	2
	京都薬科大学	1	神戸薬科大学	1
	大阪医科薬科大学	1		
	【標準コース】			
	私立大学			
	同志社大学	1	関西福祉科学大学	1
	関西大学	1	大阪商業大学	1
	近畿大学	1	四天王寺大学	1
	京都産業大学	2	天理大学	4
	大阪経済大学	2	奈良学園大学	3
	摂南大学	4	奈良大学	4
	追手門学院大学	3	帝塚山大学	5
	桃山学院大学	5	畿央大学	1
	大阪工業大学	1		等
	【美術科】			
	私立大学			
	奈良芸術短期大学	7	多摩美術大学	1
	大阪芸術大学	1	京都精華大学	2
	嵯峨美術大学	2	京都芸術大学	1
				等
4	海外修学旅行 (2年生対象)			
	行先	オーストラリア(ケアンズ)		
	期間	令和7年11月6日～10日		

【聖心学園中等教育学校】

1 令和7年度の主な事業の概要

【教育活動】

(1) 組織・運営体制の整備充実

教職員一人一人が自校を進学校として位置づけることを意識し、6年一貫教育をシステム化し、実施している。特に授業の充実を核にして、放課後の学習補充(前期課程:基礎学力の充実から応用力アップへ、後期課程:大学入試の対策の工夫)についても工夫を図っている。

(2) 教育活動の2本柱である「グローバル教育」と「探究活動」について

①「グローバル教育」

- ・カナダ人教師が常駐し、英会話の授業や英検2次面接などの対応にあっている。
- ・1年生から4年生はネイティブの英語講師を招き、7月、8月に英語集中プログラムを実施。
- ・5年生は、外国人の大学生、大学院生を招いて、1週間25時間、社会問題を話し合い、まとめ発表するということを繰り返すグローバルスタディーズを実施。
- ・4・5年生の希望者を対象としたセブ島短期語学留学を実施。
- ・1から5年生の希望者を対象にしたオーストラリア・Geelongへの2週間の短期英語研修を実施。
- ・チェコ、オーストリアへの海外修学旅行を第4学年で実施した。日本とは異なる文化や習慣に触れ、異なる価値観を体験する機会となった。また、英語圏以外の人々と交流することで、コミュニケーション能力のさらなる向上を図った。

②「探究活動」

★前期課程:地元(檀原市・明日香村)を中心に活動

- ・1年生 8月1日2日5日 聖心リベラルアーツを開催。本務教員が6つのゼミを開講し、生徒は好きなゼミを選択参加した。
- ・2年生 明日香ボランティアガイド(11月8日)
- ・3年生 未来の選択(8月)(飯野先生講師)
かしはら未来会議(檀原市)

★後期課程:地元から世界、社会へ

- ・4年生 ヤマトミライエンジン(教育と探究者・五条メディカル)
バリュー(金融経済探究)
リーダーシップ講座(8月)(飯野先生講師)
- ・5年生 クエストカップ スモールスタート部門(教育と探究社)
全国大会に2組が出場 内1チームがグランプリ受賞
- ・1～5年生 NEWSPICKS

(3) 組織力の強化

①ソフト面

ICT機器の活用を中心に、教育内容を充実させ、他者と協議して問題解決に取り組む力の育成を強化した。

②発信力の強化

入試広報において、昨年度同様学校説明会を1回の参加者数を制限して7週連続で実施した。アンケートでは本校の教員や生徒に対して概ね良好な印象であった。しかし、塾訪問数が伸びず、本年度入学者数は芳しくなかった。次年度への課題である。

③探究活動の成果の利用

本校5年間の探究活動の集大成ともいえる「クエストカップ2025」では、4年生1チームが企業賞を受賞。また、昨年度の全国大会出場者が、「探究活動」の授業で培った力を十分に発揮し、総合型選抜入試で大学合格に繋がっている。

(4) その他

本年4月の入学者数は目標数「60名」を下回る「35名」であった。令和8年度は分析、戦略を踏まえ、数多く塾訪問を行い、積極的な入試広報活動を展開し、教職員が「私立」学校であるという意識を十分に持ち、業務に努める。

【施設設備整備】

- ・一部、エアコン整備
- ・LL教室PCをWindows11へ更新

2 令和7年度 生徒募集の広報活動状況

活動内容	実施日	対象者	参加者(組)
学校説明会	5/19~6/28	児童・保護者	57組
第1回 オープンスクール	7月19日	児童・保護者	51組
第2回 オープンスクール	9月20日	〃	48組
学習塾対象入試説明会	6月、9月	学習塾	20組
保護者対象入試説明会	9月20日	児童(6年生)・保護者	24名
聖心入試チャレンジ	10/4,11/22	児童(6年生)	132名
合格勝ち取りセミナー	10/25,12/13	〃	84名
合計			416

3 令和7年度卒業生の進学状況

国公立大学	大阪大学	1	私立大学	東京理科大学	1	
	神戸大学	1		法政大学	1	
	奈良女子大学	1		同志社大学	16	
	奈良教育大学	1		立命館大学	7	
	大阪公立大学	1		関西大学	15	
	奈良県立大学	1		関西学院大学	3	
	和歌山大学	1		京都産業大学	1	
	筑波大学	1		近畿大学	27	
	名古屋工業大学	1		甲南大学	2	
	三重大学	1		龍谷大学	20	
	富山大学	1		京都女子大学	1	
	愛媛大学	1		武庫川女子大学	1	
	高知大学	1		その他	59	
	旭川市立大学	1				
	はこだて未来大学	1				
	滋賀県立大学	1		医歯薬系	関西医科大学	1
	兵庫県立大学	1			東京医科大学	1
	島根県立大学	1			神戸薬科大学	1
					摂南大学	1
	文部科学省所管外大学校	防衛大学校		5		大阪大谷大学
	気象大学校	1				

4 海外修学旅行

行先 チェコ・オーストリア
 期間 令和7年11月16日～22日 4年生

【聖心幼稚園】

1 聖心幼稚園の教育の特色について

公立幼稚園と異なる聖心幼稚園のおすすめポイントはつぎのとおりである。

- ①遊びも学びもどちらも大切にしている。
→聖心幼稚園では、遊びを大切にしながら、学びの基礎を特別指導などから身につけることができる。
- ②基本的な生活習慣を身につける。
→挨拶や手洗いなど基本的な生活習慣を身につけることや、発達段階に応じた役割を担うことで、責任感と達成感を体験している。
- ③年間を通して歯みがき指導をする。
→自分で磨き、先生が仕上げ磨きをする。「食べたら磨く」の歯磨き習慣は子どもたちへの大切なプレゼントになる。
- ④魅力的な「特別指導」で生き生き活動する。
→専門の指導者によるレッスンが受けられ、子ども興味や関心を引き出しながら、生き生きと活動する内容になっている。
- ⑤複数担任制でゆとりをもって保育している。
→二人の指導者がいることで、子どもたちに目が行き届き、安心して園生活を送れる教育環境を提供している。

2 令和7年度の主な事業の概要

【教育活動】 教員6名体制で、全てのクラスで複数担任制を実施。教育内容は充実している。

◎ 教職員の相互連携の充実(複数担任制と職員相互の連携)

それぞれのクラスの主任と副主任の連携はもちろんのこと、クラスを超えた職員間の連携が進んでいる。サポートが欲しいときには互いに助け合い、園児の成長に向けて自ら考動している。

◎ 特別指導の充実

特別指導は本園の特色ある教育活動の一つで、専門の指導者によるレッスンである。音楽、絵画、英会話体操、造形、書道など、子どもたちの興味や関心を引き出しながら、楽しく意欲的に学べる機会を提供している。

◎ 保護者に関われた幼稚園

「参観保育・日曜参観」「お誕生会」「水遊び活動」「運動会」「作品展」「クリスマス会」「英語・音楽発表会」など、毎月保護者に幼稚園での子どもたちの活動の様子を見てもらう機会を設けている。また、年に2回面談を行い、子どもたちの園での様子や成長等を保護者に伝えている。

◎ 安心、安全を実感できる日々の取り組み

新型コロナウイルス等の経験を活かし、うがい、手洗いを励行し、健康管理を心がけている。

熱中症対策の1つとして、園児の身長にあわせた位置に熱中症指数計を設置している。

また、経口飲料水も準備し、定期的に水分補給もしている。

通園バスの乗降時については、教職員、保護者、運転者が密に連絡を取り合い、園児の居所を確認している。また、保護者が、バスの運行時の走行場所を確認できるアプリを導入し、運用している

3 園児募集の広報活動

令和7年度園児募集の広報活動状況

活動内容	実施日	参加者(名)
未就園児遊ぼう会	4月22日	9
	5月19日	10
	6月18日	9
	7月10日	9
夏祭り会	7月10日	園児のみにて実施
運動会	10月5日	120
作品展	10月18日～19日	180
フリー参観	11月4日	50
オルガンパフォーマンス	11月10日	園児のみにて実施
未就園児遊ぼう会	11月14日	10
新入園児説明会	2月7日	10
英語・音楽発表会	3月1日	120
参加者合計		527

来園者に「聖心幼稚園をどう方法で知りましたか」というアンケートをとっている。これによると「ホームページ」「知り合いから」という回答が多い。こうしたことから、従来以上に、保護者にとって親しみのある見やすいホームページやわかりやすい広報活動が必要である。

そのようなことを踏まえ、一昨年度中頃より、Instagramを開設し、多くの人に幼稚園のことを知っていただく取り組みを行っており、最近では「Instagramをみました」という回答も見られる。

「園の様子を伝える親しみやすいホームページやInstagram」「遊ぼう会や園の見学についての情報配信」とともに、特色ある聖心幼稚園の指導を、実際に見学して頂く機会を多く提供したい。